

■■■■■■■ 第19号 (2021.3.2) △△△

こんにちは。

カレンダーや販促・印刷でお世話になっておりますマツウラです。
日頃のマツウラの様子ที่わかる記事を中心にお伝えしていきます。

* * * * *

◆それでは「となりのマツウラさん」の各記事をお楽しみください。

【1】 * * * 周年行事で感謝を伝える * * *

昨年から続くコロナ禍において、私たちはこの機会にできることを考え取り組んできました。『マツウラだからこそできること！』を追求し、新規事業へのスタートをきりました。

私たちは【名入れ事業】を通してお客様の
《ブランドケアアップ》《感謝を伝える》
お手伝いをしていく！という方針を固め、そのために何をすべきか？何ができるのかを考えてきました。

その中で、今後展開していく事業の一つに「周年事業」があります。
これまで積み上げてきた経験と実績を追求し、最良のご提案ができるよう進めて参ります。

周年事業は社内外に「感謝」を伝えることで、良好な関係を再構築できる大切な機会になると思います。
私たちはその想いを共に作り上げていきます。

創業60周年を迎えたお客様がコロナ禍の影響でパーティー等の行事はできませんでしたが形をかえて周年事業を行いました。
その際にインタビューをさせていただきましたので、これから周年を迎える企業様のヒントになればと思いご紹介させていただきます。

* * * * * 周年事業にあたり * * * * *

《ミカド電装商事株式会社 様》

当社は蓄電池をメインに扱うことになって、今年でちょうど60周年を迎えることとなりました。

そこで本来なら、日頃お世話になっているお客様をお招きしてのパーティー等の記念行事を挙げるべきなのですが、コロナの影響で行事開催は不可能と判断せざるを得ませんでした。

そこで「せめて【記念誌】と【記念品】をお客様にお配りするくらいはしなくては」という話になりました。

それでどこに頼もうかということになり、もともとカレンダーや紙手提げバッグなどの販促品でお世話になっていたマツウラさんに聞いてみようかと。

正直これまでは、単品に名入れをお願いする、という感覚だったので、企画までお願いして良いのかなという心配もありましたが、マツウラさんがこれまでに制作した記念誌のサンプルを拝見して、様々な企業のニーズに答えてきたんだなあと分かりましたので、私たちも正式にお願いすることにしました。

実際、こちらの要望を丁寧に聞き取りながら制作していただいたので、「ミカド電装商事の歴史を気軽に週刊誌感覚で読んでもらえる記念誌」という私たちの希望にかなった仕上がりになりました。

反省としては今回はコロナ禍もあり、準備期間が短く、マツウラさんにご迷惑をおかけした面もあったかもしれません。

周年行事や事業を考えておられる企業様は、その前年・前々年くらいからマツウラさんのような会社に相談して良いと思いますよ。

次号では実際に私たちマツウラが作成した記念誌や記念品のご紹介をさせていただきます。

今後も、皆様のお役にたてるような情報をインタビューも交えてお伝えしていきたいと思います。

「名入れによるブランディング企画」の事ならどんなことでもお気軽にご相談ください。

【2】***今週のSNS新着***

3月3日は桃の節句・ひな祭りで有名ですが、江戸後期には3月3日に金魚をひな壇に飾る風習があったということから、金魚の日でもあります。

日本のお祭りには欠かせない金魚ですが、古くは鎌倉時代から知られており江戸時代には大々的に養殖され、品種改良を重ねたくさんの種類が生まれました。

一般的にお祭りなどにいる金魚は4-5cmですが、最大で30cm程に成長しますが、そのためには大きな水槽でストレスのない飼育が必要のようです。30cmの出目金なんていたらちょっと見てみたいですね。

グーグルマイビジネスなどの投稿を紹介します。

◆◇◆ 1. マツウラのグーグルマイビジネス (<https://posts.gle/ZrJf2>)
◆◇◆

(株)マツウラのグーグルマイビジネスには、日にちにまつわる「どこかで役にたつ！」

かもしれない雑学記事を掲載しております！是非ご覧ください！

→<https://posts.gle/ZrJf2>

【3】今月のメディアニュース

印刷業界の最新情報やカレンダーに関するニュースをお届け。

◆東京高専生、在学中にベンチャー企業設立 印刷物を自動で点字化するシステム手掛ける

https://www.goo.ne.jp/green/column/minkei_hachioji3167.html

↑↑↑

高専の3年4年生が立ち上げた会社は、印刷物を自動で点字化するシステム。素晴らしい若者ですね！

◆福井で和紙文具イベント「製本と活版印刷」 若手職人と語れるバータイムも

<https://fukui.keizai.biz/headline/858/>

↑↑↑

福井県の若手和紙職人が手がけるイベント。和紙製品はまさに「クールジャパン」！！広まることを願っています。

◆凸版印刷、業界初 浴室でも使える紙パックの本格生産を開始

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000605.000033034.html>

↑↑↑

浴室でも溶けない紙製品。ペットボトルと同等の耐水性？今後の展開に期待ですね！！

☆マツウラからの大切なお知らせ☆

(株)マツウラでは3月から新しい期に入りましたが、
カレンダー業界はすでに年末に向けて動き出しています。
来年度のカレンダー本体のデザインはすでに決定しているんですよ。

(株)マツウラでも4月になるとカレンダーカタログや資料の準備等がスタートしますが、
それと同時に工場でも印刷に向けて準備を始めていきます。
今年はより安全にカレンダー印刷の皆さんが作業できるよう、カレンダー印刷機の安全装置を改良しました。

毎年、短期（6月頃～12月初め頃）のアルバイトの方を募集いたします。
印刷5名、倉庫作業1名
初心者でも大歓迎ですので、ご興味のある方やお知り合いの方がいらっしゃれば是非お声がけください！

昨年は消毒や検温、換気やソーシャルディスタンスの感染症予防を徹底し、感染者が出ることなく無事にシーズンが過ごせました。今年もより安全・安心に作業できるよう準備を進めていきます。

◆このメールマガジンは当社社員が名刺交換させていただいた皆様に向けて、最近のマツウラの様子や今後の印刷・カレンダーなどの動向などをお伝えすべく、
月2回程度配信させていただく予定でお送りいたしております。

◇メール配信停止、配信先メールアドレスの変更をご希望の方、又は同じ配信が複数届いている方は大変ご面倒をおかけしますが下記よりご登録をお願い致します。

配信停止をご希望の方
<http://ur2.link/U7Md>

メールアドレス変更をご希望の方
<http://ur2.link/rKW6>

◇記事内容へのお問い合わせ・その他ご意見は
info@sendai-matsuura.co.jp
宛てにお寄せください。

◇ホームページはこちら
<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

発行：株式会社マツウラ
〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町5-75
TEL：022-232-4413
FAX：022-232-4468

編集：松浦月子・阿部寛